

平成30年度 八戸市公共事業再評価シート

平成30年11月5日

No.	30-③	担当部署	環境部 下水道建設課 計画調査グループ				
事務事業名	八戸市公共下水道事業(浅水川左岸第三、四、五、右岸第三排水区)						
再評価実施要件	<input type="checkbox"/> 5年未着工 <input type="checkbox"/> 長期継続(年) <input checked="" type="checkbox"/> 再評価後(10年) <input type="checkbox"/> その他()						

1 事業の概要

総合計画の 施策の体系	分野	政策6 都市整備・公共交通						
	大施策	6-4. 上下水道の整備						
	中施策	(1) 上下水道の整備						
	小施策	② 下水道の整備						
	事業	公共下水道の整備						
採択年度	昭和60年度	用地着手年度	-	工事着手年度	平成15年度			
終了年度	平成35年度	※平成29年度計画変更 (変更前の終了年度 平成32年度)						
事業目的	近年、全国的に記録的な集中豪雨や長雨による浸水被害が多発している。公共下水道の目的のひとつには浸水の防除があり、都市の健全な発展には、汚水のみならず、雨水排水施設の整備も必要である。 浅水川左岸第三、四、五及び右岸第三排水区の公共下水道事業は、現在、区画整理事業が進められている八戸駅西地区の浸水対策事業であり、区画整理事業と同時に実施することによって、早期の都市基盤整備を目指すものである。							
事業内容	全体計画(平成29年度変更) ①浅水川左岸第三排水区 ・全体計画面積: 46ha ・計画流出量 : 189m ³ /min ②浅水川左岸第四排水区 ・全体計画面積: 13ha ・計画流出量 : 119m ³ /min ③浅水川左岸第五排水区 ・全体計画面積: 3ha ・計画流出量 : 54m ³ /min ④浅水川右岸第三排水区 ・全体計画面積: 46ha ・計画流出量 : 310m ³ /min				事業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫補助事業 <input type="checkbox"/> 県補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業		
					財源負担	<input checked="" type="checkbox"/> 国(50%) <input type="checkbox"/> 県(%)		
事業費	○当初計画総事業費 1,561百万円 ○再評価時総事業費 1,783百万円 ※単位:百万円							
		~26年度	27年度	28年度	29年度	小計	残事業 (30年度~)	合計
	当初計画	659	141	180	0	① 980	581	1,561
	(うち用地費)	(-)	(-)	(-)	(-)	②(-)	(-)	(-)
	平成2年全体計画							
現計画	659	141	180	0	980	803	⑤ 1,783	
(うち用地費)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	⑥(-)	
平成29年度変更								
実績	659	156	213	9	③ 1,037	746	1,783	
(うち用地費)	(-)	(-)	(-)	(-)	④(-)	(-)	(-)	

2 項目別評価

(1)事業の進捗に関する視点

(A)・B・C

進捗率	計画全体に対する進捗		当初計画に対する進捗		
	事業費割合	58.16% 【③/⑤】	105.82%	【③/①】	
	(うち用地費)	(0.00%) 【④/⑥】	(0.00%)	【④/②】	
整備状況	項目	H2全体計画	H29全体計画	整備状況(H29年度末)	
	排水区域面積 (ha)	左三	47	46	28.3
		左四	41	13	0.0
		左五	11	3	0.0
		右三	75	46	24.5
	計画流出量 (m ³ /min)	左三	178.62	189.48	116.57
		左四	174.78	118.74	0.00
		左五	63.96	36.84	0.00
		右三	376.80	309.60	164.90
事業の進捗に関する説明	<p>【進捗状況】 八戸駅西土地地区画整理事業に併せて、浅水川左岸第三排水区、右岸第三排水区で雨水管渠、樋門の整備を進め、計画全体に対する事業費割合の進捗は58.16%となっている。 【今後の見込み】 区画整理事業と連携しながら整備を進めていく。</p>				

(2)事業の必要性等に関する視点

(A)・B・C

必要性に関する説明	当初計画時	<p>・下水道は浸水の防除を図る上で欠くことのできない都市の基盤施設であり、都市計画法第13条第11号に基づき、当市の都市計画において下水道の排水区域を定めている。 ・下水道事業では、大雨による市街化区域の浸水被害や内水被害を防止するため、雨水を速やかに排除できるよう、管渠、ポンプ場、樋門等の雨水排水施設の整備を行う必要がある。</p>
	現在	<p>平成14年に東北新幹線盛岡・八戸間が開通し、新幹線や都市機能導入の受け皿となる都市基盤施設の整備と宅地の利用増進を図り、広域交通結節点と恵まれた立地条件を活かしたまちづくりを行うことを目的として、八戸駅西土地地区画整理事業が進められており、事業区域内の浸水防除を図るため雨水管渠や樋門等の雨水排水施設の整備が必要となっている。</p>
その他特記事項	<p>・八戸駅西土地地区画整理事業については、平成28年度の公共事業再評価で事業継続と判断されている。</p>	

(3)事業の投資効果に関する視点

A・(B)・C

事業効果等	評価指標	前回評価時	今回評価時	増減	参考値
	費用便益比(B/C)	2.04	1.83	-0.21	

※内訳		単位:百万円	
区分	主な項目	前回評価時	今回評価時
費用項目◎	①管渠建設費	1,503.4	1,965.2
	②維持管理費	62.8	127.7
	総費用	1,566.2	2,092.9
便益項目③	①浸水の防除効果	3,076.5	3,625.1
	②残存価値	116.5	195.6
	総便益	3,193.0	3,820.7
B/C		2.04	1.83

費用便益 分析手法	「下水道事業における費用効果分析マニュアル」(平成28年12月/国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づいて分析した。
特記事項	<p>【要因変化】</p> <p>費用項目について、①管渠の建設費は、整備の実績額が前回評価時の計画事業費より増加したこと、今後の事業費の増加が推定されることから、前回評価時から増加した。</p> <p>②維持管理費は、維持管理の実績額が前回評価時の計画費用より増加し、今後も管渠の整備に伴い増加すると推定されることから、前回評価時より増加した。</p> <p>便益項目について、①浸水の防除効果は浸水に対する被害軽減額であり、下水道計画変更による評価期間延長に伴い増加した。</p> <p>分析の結果、費用の増加割合が上回ったことから、費用便益比(B/C)は前回評価時から低下したが、事業継続の判断基準である1.0以上を満たしている。</p>

(4) 事業のコスト縮減等に関する視点

(A) ・ B ・ C

コスト縮減対策の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・管渠の最小土被りを浅くする。 ・区画整理事業との連携による舗装復旧費の削減。
事業代替案の可能性	当該事業は浸水の防除が目的であり、下水道を整備する以外の浸水対策は考えられず、また、施設計画も最も効率的・効果的である。よって、代替案はない。

(5) 環境影響への視点

(A) ・ B ・ C

配慮手法	—	建築設計段階で省資源、省エネルギーを推進	○	建築機械、工事車両には低騒音、低振動、低排出ガスの機械を使用
	—	建築設計段階で太陽光発電システム、その他再生可能エネルギーの導入	○	建設副産物のリサイクル推進
	—	施設の緑化	○	廃棄物の分別処分
	○	再生資源の使用	※ ○:実施 ×:未実施 —:対象外	

3 総合評価

(1) 対応方針(案)

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 計画変更	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 中止	
理由	八戸駅西地区は、八戸駅や(仮称)八戸西スマートインターチェンジによる広域交通結節点であり、今後の集客施設の立地による交流人口の増加や、居住誘導区域として居住人口の増加が見込まれることから、都市基盤施設として浸水対策は必要不可欠である。よって、事業継続とし、区画整理事業と連携して早期完成を目指したい。				

(2) 行政改革委員会意見

委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 計画変更	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 中止	
附帯意見理由等	特になし。				

(3) 対応方針(決定)

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 計画変更	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 中止	
理由	対応方針(案)に示したとおり事業継続とする。				